

一般質問



市役所第2庁舎前のマンホールふた

問 市のイベントにPRブースを設置しては。
答 産業まつりや環境フェアなどのイベントで情報ブースコーナーの設置を考えている。
オリジナルマンホールを活用したPR
問 オリジナルマンホールを活用し、企業広告を募集しては。
答 企業ニーズや宣伝効果のある場所などを調査しながら、事業効果について研究する。

階段を活用した健康づくり
問 公共施設の階段にカラー表示を設けては。
答 思わず階段を利用しなくなるような動機づけとしてポスターやステッカーの掲示等、効果的な方法を安全・安心を最優先に検討する。
道路の維持管理に向けて
問 道路の維持管理にかかる特定財源の確保は。改正に伴い、区分の見直しが行われた。国の方針に基づき、道路占用料の改定を来年度実施できるように準備している。
問 維持管理費の状況は。
答 市で管理する道路は289.4km。道路延長は年々増えており、維持管理費も増えている。

**お出かけサポートタクシー事業
利用登録証**

住所 ふじみ野市福岡一丁目1番1号

氏名 ふじみ野 太郎

有効期限 平成28年4月18日 交付

問 自立に向けて段階的な支援の拡充を。
答 支援プログラムメニューの充実を図り、中間的就労の受け入れ先の確保に努めていく。
利用しやすいお出かけサポートタクシー
問 共通乗降場を近隣市の救急病院、産婦人科へ拡充し、交通弱者が利用しやすい制度にしては。

問 利用時間の延長、市外の医療機関への拡大は、今後アンケート調査を実施し検討する。
上野台体育館トレーニング室の今後
問 担当課が保健センターから文化・スポーツ振興課へ移管した。この目的と効果は。
答 健康運動指導士等を配置し、幅広い健康・体力の維持増進に取り組みたい。この効果を得るためにトレーニング手法に合ったマシンの導入が必要であり、安全面も考慮し順次更新していきたい。
問 利用時間帯の拡充やシャワー室の設置は。
答 利用時間は、利用者の要望を踏まえ検討を進める。シャワー室の設置は、上野台体育館の大規模改修時に検討する。

問 子どもの読書活動推進のため、家庭で親子が同じ本を読み感想などを語り合い、家族との触れ合いや絆を深めることができる家読推進の考えは。
答 今後の進め方を学校やPTA、子どもの関係団体への意見聴取や先進事例などにより、研究したい。
待機児童解消に向けた保育受入枠の拡大を
問 現在までの入所待機児童解消への取り組みと、今後の対応は。
答 民間保育園9園の新設整備を支援し、約900人分の定員枠の拡大を行った。
 今後も待機児童数の動向を注視し、保護者の子育てへの気持ちに寄り添った支援を行う。



みほの地区の通学路

問 自転車ネットワーク計画の路線選定は、何を重視したか。
答 駅や学校、商業施設、公共施設等の自転車利用者が多い施設へのアクセス向上を重視し、また、自転車事故発生状況なども勘案した。
勝瀬小学校への通学路の交通安全対策
問 みほの地区から勝瀬小学校への通学路は、狭あいでのカーブがあり危険を感じる。どのような対策を考えているのか。
答 注意喚起の路面標示やグリーンベルトを設置し、安全確保を図ってきたが、さらなる安全を考えたが、富士見市や警察と連携し検討していく。
孤独死対策
問 高齢者の孤独死の現状と防止策はどのようなものか。
答 限定的な情報ではあるが、平成27年度は3件、平成28年度は6件、平成29年度は7件である。対策としては、75歳以上の単身高齢者を対象に高齢者あんしん台帳を整備するほか、高齢者見守りネットワーク事業などを強化していく。

市政を問う!

一般質問

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。今回の議会では、15人の議員が一般質問を行いました。掲載した内容は各議員本人が要約したものです。なお、全ての質問と回答は市議会ホームページの会議録で閲覧できます。(8月下旬掲載予定)

ラグビーワールドカップ2019に向けて

加藤恵一議員

問 学力向上や指導の充実を実現するために、書類の印刷・仕分け、小テストの丸つけなどの業務については、支援員を配置し、教員が生徒と向き合う時間を確保しては。
答 教員が生徒と向き合う教育の充実に努める。
問 月80時間を超える時間外労働が過労死ラインの目安だが、本市の状況は。
答 月平均63時間の時間外労働である。
住民票等のIT化
交付
問 コンビニ交付を導入し、事務スペース・人員を削減した上で、公共施設の適正配置を検討する必要があります。国からは積極的に勧奨する通知があり、導入後3年間は総事業費の2分の1の補助がある。申請期限は来年度



西ノ原中央公園の遊具

公園遊具の充実
問 使用禁止になっている遊具などが目立つ西ノ原中央公園のような人気の高い公園については、遊具の維持管理の充実を。
答 管理の徹底を図る。

中学校教員の業務支援

渡辺 大議員

問 子どもの読書活動推進のため、家庭で親子が同じ本を読み感想などを語り合い、家族との触れ合いや絆を深めることができる家読推進の考えは。
答 今後の進め方を学校やPTA、子どもの関係団体への意見聴取や先進事例などにより、研究したい。
待機児童解消に向けた保育受入枠の拡大を
問 現在までの入所待機児童解消への取り組みと、今後の対応は。
答 民間保育園9園の新設整備を支援し、約900人分の定員枠の拡大を行った。
 今後も待機児童数の動向を注視し、保護者の子育てへの気持ちに寄り添った支援を行う。



小学校の図書室

家族との絆を深める 家読の推進を

西 和彦議員

国道254号バイパス沿道の企業誘致推進を
問 昨年、この地区の産業系土地利用を推進するため土地区画整理組合準備委員会が設立されたが、その後の状況は。
答 先進地視察や権利者の意向調査を実施した。現在、準備委員会において業務代行予定者を選定するための提案企業を募っている。

生活保護受給者・生活困窮者の自立支援を

伊藤美枝子議員

自転車ネットワーク

谷 新一議員